

平成13年6月 つなぎ牛舎の総合改造

【きっかけ】乳房炎や起立の困難な牛がいたため、乳牛のストレスを軽減できるような牛舎にしたいと考え、「つなぎ牛舎の総合改造」を行うことにした。

	改造前	改造後	改造後の変化
給水施設	ウォーターカップ	給水器	飲水量が増えた
牛床	コンクリート+敷料	牛床マット+敷料	産褥牛等の起立がスムーズになった
繫留方式	スタンション	NYタイストール	牛を繫ぐ、外す作業が比較的容易になった
換気	扇風機6台設置	トンネル換気	牛舎特有の臭いがなくなった



総合改造のおかげで、牛舎が過ごしやすい場所になったよ。

水槽も週1回掃除してくれるので、おいしい水がたっぷり飲めます！

取り組みの成果

自動離脱装置
ユニットキャリア
自走給餌車

自動ほ乳システム

牛舎の総合改造



- ・体への負担が軽減された
- ・農繁期や家族の病気・けが等の「まさか」の時でも対応ができる体系となった
- ・子牛の順調な発育に伴い、付加価値が向上
- ・乳量が増加した（改造前1年間と比べて約120%増）
- ・寝起きがスムーズ、飲水量が増える等、牛への効果とともに臭いが無い等、作業者にとっても心地よい環境となった

ドライフラワー工房で充実生活！

奥さんは5年程前からドライフラワーのリースを手がけ、観光地等で販売を行ってきました。最近はそのセンスの良さが評判となり、新たに、販売依頼がくるまでになりました。

平成13年3月には念願のドライフラワー工房が完成。工房では、アイデア豊かな作品が次々と生み出されています。



今後の方針

これまで既存施設に対する投資は、その後の経営展開に柔軟に対応できるような形で行ってきました。今後も経営や労働面の改善のために必要な事は、将来展望を見据えた上で、投資を行っていきたいと考えています。

また、将来、後継者の就農・結婚といった事が予想されます。その時には、給料制・休日の明確化など労働条件についても検討し、働きやすい環境を整えていく予定です。

事例 2 家族の連携と効率よい作業

時間を有効に使う工夫をすることで、家族そろって食事をしたり、家族団らんの時間を持つように努めている酪農家の事例です。家族間の信頼関係が深く、日常の仕事も連携がとれ、スムーズに行われています。

経営概要

労働力	3人 (経営主・妻・父)
飼料作物面積	115ha
乳牛頭数 (うち経産牛)	130頭 83頭
出荷乳量	676 t



手入れの行き届いた庭

効率的に作業を進める取り組み

(1)作業スケジュールと連絡

食事の時、家族の行動予定や作業スケジュール、分担を明らかにしているため、作業が円滑で、不在時の対応もスムーズです。休息も有効に利用しています。

(2)整理整頓

各自が心がけ、必要な道具がすぐに使えるように倉庫の工具は用途別に整理整頓しています。

(3)点検整備

トラクタや作業機械は普段から点検整備し、故障がないようにしています。

(4)効率よい飼養管理

個体毎の泌乳ステージが一目でわかるように、スタンションの鎖にビニールひもを縛り、飼料給与や繁殖管理に利用しています。また、繁殖管理盤を利用し、発情発見が遅くならないようにしています。

生活での申し合わせ、取り組み

(1)時間にメリハリのある生活

仕事の時間は集中して取り組み、休息時間は体を休めたり、自分の趣味に利用します。

(2)家族団らんの時間

家族そろって食事をするように心がけ、団らんや連絡・相談の場としています。

(3)環境整備

庭や草花の手入れを行い、いつも美しい庭は、作業の合間や休息中に気持ちを和ませてくれます。

(4)経営主の母親の存在

食事の用意やハウスで野菜栽培、庭の手入れなど、家族労働の大きな原動力になっています。



用途別に道具が整理された倉庫

今後の展望・目標

酪農経営は現状を維持し、家族の健康を第一に、生活を充実していきたい。